

## 令和3年度教育研究活動報告書

氏名	信木 伸一	所属	芸術文化学部日本文学科
学位	博士（教育学）広島大学	職位	教授
専門分野	国語教育学		

I 教育活動			
本年度担当科目			
	授業科目		
学部	国語教育学専門演習 a、国語教育学専門演習 b、卒業論文（構想・準備）、卒業論文（制作）、国語科教育法Ⅰ、国語科教育法Ⅱ、教育原理、教育の方法と技術、教職実践演習		
大学院	国語教育学特論		
II 研究活動			
現在の研究テーマ（3つまで）			
（1）言語文化教育史			
（2）伝統的言語文化の学習論			
（3）リテラシーの学習理論			
本年度を含む過去3年間の研究業績 R3・R2・R1			
R3 〈学会発表〉 明治期中学校国語教科書の編者作成教材における「普通文」—新保磐次『中学國文讀本』・落合直文『中等國文讀本』・塩井正夫『中學國文』・物集高見『新撰國文中學讀本』の場合—（全国大学国語教育学会『国語科教育研究 第141回 世田谷大会 研究発表要旨集』2022.10）単著			
〈論文〉 明治期中学校読本教科書の編者作成教材における「普通文」—新保磐次『中学國文讀本』・落合直文『中等國文讀本』・塩井正夫『中學國文』・物集高見『新撰國文中學讀本』の場合—（『国語教育研究 第六三号』広島大学国語教育会 2022.3）単著			
〈論文〉 学生の言語運用能力のパフォーマンス評価—「研究発表」のループリックから—（尾道市立大学芸術文化学部紀要 第21号 2022.3）共著			
R1 〈学会発表〉 近代日本における中層エリートの意識基盤としての教養形成の実相の解明—社会的リソースとしての中等国語読本・女学校国語読本・文法読本—（全国大学国語教育学会『国語科教育研究 第136回茨城大会研究発表要旨集』2019.10）			
〈論文〉 「新保磐次『中學國文讀本』における「普通文」その2—編者作成教材における文体的試みと三土忠造『中學國語讀本』への改変—」（『国語教育研究 第六一号』広島大学国語教育会 2020.3）単著			
〈論文〉 「主体的な学習活動でめざす学び」（『教職支援センター紀要第1号』尾道市立大学 2020.3）単著			
〈著書〉 全国大学国語教育学会『新たな時代の学びを創る 中学校・高等学校国語科教育研究』（東洋館出版 2019.9）共著			
H30以前の主な研究業績			
〈著書〉 『明治初期和文教科書の生成—『本朝文範』における「普通文」への歩み—』（溪水社 2017.12）単著			
〈論文〉 明治初期教科書『本朝文範』における「普通文」への歩み—「旨趣の標、の近世古典注釈からの継承と近代教科書としての加工—」（『日本教科教育学会誌 第39巻2号』日本教科教育学会 2016.9）単著 査読付き			
〈論文〉 明治初期和文教科書の生成—『本朝文範』を中心に—（博士学位論文、2016.9広島大学）単著 査読付き			
〈論文〉 明治教科書『本朝文範』の生成—近世からの脈略と明治教科書としての創出—（『国語科教育 第七十八集』全国大学国語教育学会 2015.9）単著 査読付き			
〈論文〉 古典学習における主題単元のテーマの設定—「学習者にとっての問題調査」から—（『教育学研究紀要 第60巻』中国四国教育学会 2015.3）共著			
〈研究報告書〉 2012~2014年度科学研究費補助金基盤研究（C） 小・中・高一貫の「伝統的な言語文化」の教育カリキュラムに基づく授業創造に関する研究（渡邊春美、信木伸一、武久康高、富安慎吾 2015.3）共著			
学会、所属団体における活動（本年度を含む過去3年間の研究業績） R1・R2・R3			
所属学会・所属団体 役職等と任期			
全国大学国語教育学会、日本文学協会、日本教科教育学会、広島大学国語教育会（理事）、尾道大学日本文学会			
IV 社会活動			
2. 委員会及び協議会委員（本年度1年間の活動状況）			
	委員会等の名称	委員長・委員等の別	出席回数（回）
（1）尾道市関係	尾道市教科用図書選定委員会	委員長	6回
	尾道市立栗原中学校学校関係者評価委員会	委員	2回
	尾道市個人情報保護審議会	委員長	1回
	尾道市情報公開審議会	委員長	1回